

とっどりの未来づくりに向けた新たなテーマ・方向性（案）についての意見募集結果 （パブリックコメント、電子アンケート）

平成23年12月14日
未 来 戦 略 課

県では平成24年度の予算編成において「政策主導型予算編成システム」を導入し、政策主導の一環として政策戦略会議(知事、副知事、部局長で構成)で議論を行っていますが、現場とかけ離れた政策立案とならないよう県民の皆さまや現場の意見・アイデアを取り入れることを目的に、パブリックコメント及び県政参画電子アンケートを実施しました。いただいたご意見は、平成23年12月15日に開催の「第3回政策戦略会議」での政策戦略事業の議論の参考とするとともに、各部局における政策戦略事業の予算要求の参考とします。

1 パブリックコメントの実施

- (1) 期 間 平成23年11月4日(金)から11月25日(金)まで
- (2) 内 容 県が新たに又は重点的に取り組むべき政策テーマあるいは具体的な事業、取組のアイデアについての意見募集
- (3) 募集方法
 - ・ 県庁県民課、各総合事務所県民局、県立図書館、市町村役場の窓口に募集チラシを配置
 - ・ 鳥取県ホームページ「とりネット」の未来戦略課のホームページに意見募集のページを掲載
 - ・ 日本海新聞紙上に意見募集広告を掲載（掲載日 11月5日(土)）
- (4) 回 答 14件(5名)

2 県政参画電子アンケートの実施

県民課が所管する県政参画電子アンケートに登録している会員に対し電子アンケートを次のとおり実施した。

(1) 概 要

- 対 象：県政参画電子アンケート会員 229名
- 期 間：平成23年11月4日(金)から平成23年11月20日(日)
- 募集内容：①これまでの取り組みで評価できる分野
- ②重点的に力をいれるべき、又は取り組みが不足している分野
- ③追加が必要と思われる政策テーマや具体的な事業の取組のアイデア
- 回 答：165名(回答率72.1%)

(2) アンケート結果

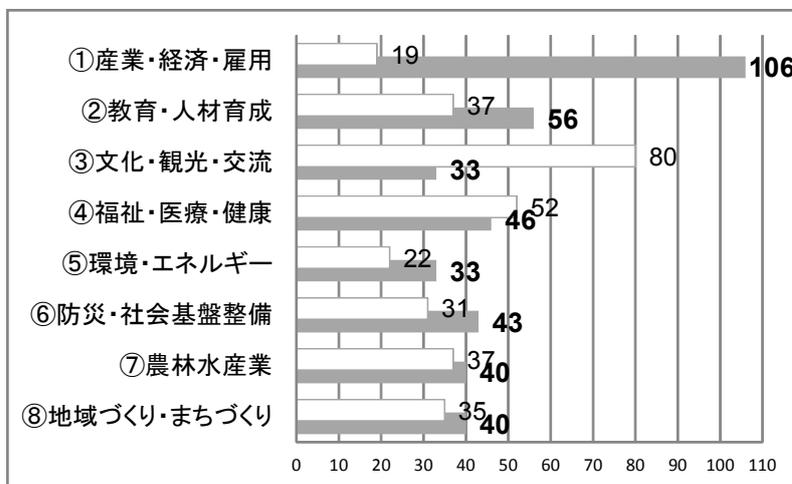
単位：人 複数回答可

【上段(白枠)】

これまでの取り組みで評価できる分野

【下段(灰色枠・太字)】

重点的に力をいれるべき、又は取り組みが不足している分野



3 寄せられた意見の利用等

- ・ 政策戦略会議で概要を公表
- ・ 寄せられた意見を参考とした対応状況をホームページで公表(当初予算の議決後)

4 電子アンケートで「評価できる分野」「取り組みが不足している分野」を選んだ理由

(1)「これまでの取り組みで評価できる分野」を選んだ主な理由

・ジオパーク認定や鬼太郎、コナン、砂丘イベントなど人が集まってきているから。
・韓国・ロシア航路の就航等、環日本海交流を積極的に行っている点。
・観光には鳥取にしかないものをアピールしてがんばっていると思う。
・健診事業や子育て支援事業など身の回りでよく体感します。
・「食のみやこ」シールやマークを見る機会が多くなった。イベントなどで試食やPRもされており地域住民はもちろん県外の人にもアピールされつつあると感じる。

(2)「重点的に力を入れるべき、または取り組みが不足している分野」を選んだ主な理由

・職安に足を運ぶと、雇用を求める人で溢れている。若い世代も多く、企業誘致などに力をいれて、働く場所の確保が重要だと思う。
・産業分野における施策は、努力していることは分かるが成果が感じられない。
・福祉では高齢化にともなって、独居の老人や老人だけの世帯も増えているので、地域ぐるみでの見守りが必要だと思う。
・環境・エネルギーと防災の分野が特にまだまだのような気がするので、東日本大震災を教訓にし、力を入れて取り組んで欲しい。
・世界的に将来食糧不足が考えられる。現在、農業において高齢化、若者離れが進んでいる中、企業、若者が農業に進んで入れる環境を作る必要があると考える。

5 電子アンケート・パブリックコメントで寄せられた主な意見(抜粋)

【産業・経済・雇用】

- ・雇用と給与水準の向上に努めてほしい
- ・外国を頼らず、内需に眼を向けた施策が必要

【教育・人材育成】

- ・少人数学級を拡充してほしい
- ・学力向上対策と共に人間性や社会性も育めるような教育方針も必要

【文化・観光・交流】

- ・まんが王国は、長く続けることができるテーマに育ててほしい。きっかけだけで終わってしまっただけでは何にもならない
- ・海外に対し、日本のもつ信頼性、先進性を生かし、鳥取の地の利を生かした観光をすべき（医療ツアー、食・癒し・美へのアジアビューティー玄関口など）

【福祉・医療・健康】

- ・子育て環境の改善(高額な幼稚園費、子供の医療費負担、詰め込みすぎの保育園)
- ・すべての人が利用しやすいユニバーサルデザインの推進

【環境・エネルギー】

- ・電気自動車の急速充電装置を作る(電気自動車は誰でも取り組めますが急速充電装置はこれからなので)
- ・全国に先駆けて自然エネルギーで自給自足の街づくりを

【防災・社会基盤整備】

- ・公の避難所が使えない場合に、避難所となりうる公的・私的施設の確保と登録を
- ・IC乗車券を導入し、路線バスや鉄道での乗継割引制度創設

【農林水産業】

- ・TPPに対応した農水産業の効率経営の取り組み。法人組織の推進
- ・農業への新規就労者が10年単位でステップアップできる仕組みを

【地域づくり・まちづくり】

- ・人口減をくい止め、都会からの人の流入が増えるようなUターン、Iターン政策を
- ・(他県から移住してきた)私たち夫婦が2~3年後60歳を迎えて、安心して暮らせる鳥取県で移住してきてよかったと思えるような施策をお願いします

【全般・その他】

- ・各市町村、地域との連携を積極的に取り組んで費用対効果の実績の公表を
- ・すべてのテーマに県が中心にかかわる必要性は必ずしもない。国でもなく、市町村でもない、県ならではの関わり方を明らかにしていただきたい
- ・もっと県民の中に出ていっていろんな人々の声を聞き、生かして行ってほしい